

全社で取り組む支援体制



会議に参加するベトナム出身の外国人材 チュオンさん
(画像中央)



株式会社栄光製作所

業種：製造業、医療・福祉

所在地：富岡市

従業員数：48名うち外国人材9名(申請時点)

(技術・人文知識・国際業務：1名、

特定技能：1名、技能実習：7名)(国籍：ベトナム)

HP：<https://kk-eikoh.com/>

① 外国人材採用のきっかけ

人材不足を背景に、2000年代初頭から外国人材採用を検討し始め、2005年に技能実習1期生の採用を始めました。現在までに30名超を受入れています。2018年からは技能実習生だけでなく高度外国人材の採用を見据え、ベトナムに直接赴き、ベトナム現地大学との連携を

開始しました。2022年からは製造業だけでなく介護事業でも特定技能・技能実習の受入れを開始しています。

② 採用当初の課題

外国人材の住みやすい環境づくり

外国人材の採用は、彼らが住みやすい環境を創り出すこと

からのスタートでした。

特に強化したのは日本人社員の意識改革です。当時全国的にもまだ少なかった外国人材への接し方に悩む日本人社員もいたため、全員が共通の認識・方針をもって業務に取り組むことができるように、目的や方針を明確に伝えることを常に意識しました。



地域に根付く外国人材へ

外国人材が生活する上で地域の人々からの理解は必要不可欠でした。そのため、**外国人材と一緒に地域の人のもとへの挨拶回り**をするなど、町全体で外国人材を受け入れてもらえるように努めました。

言葉の壁

外国人材の採用を始めた当初は言葉の壁が大きく、日本語の難しさを痛感しました。

この課題を解決するために、まず始めたのは身振り・手振りや写真・イラスト等の**非言語コミュニケーション**の活用です。

特に技術面での指導は、手順書やマニュアルなどを中心に、時には手本の動画を撮影し共有するなど、より正確な意思疎通を意識しました。

そして、業務の特に重要な部分は母国語に翻訳しています。

3

POINT!

会社全体で取り組む日本語教育・技術支援

継続した日本語教育

職責に合わせた日本語教育カリキュラムを実施しています。朝礼の時間を活用し、1日1単語覚えるように**会社として日本人が携わり、継続して日本語教育を行っています**。その際には教科書の通りではなく、ぐんまの方言や日常業務、生活に必要な言葉を優先して勉強しています。

また、在留資格「技術・人文知識・国際業務」(通称「技人国」)や「特定技能」の取得をめざす「技能実習3号」の外国人材には社長自らが毎日1時間程度日本語や経営学を教える時間を設けています。

そしてインターンシップからの採用では、帰国から大学卒業までの期間、日本人社員がオンラインで日本語教育を行っていました。



日本人社員から日本語教育を受けるベトナム出身の外国人材ティエンさん(左)とギアさん(真ん中)

4

外国人材の採用で特に意識していること

繋がる縁を大切に

採用時の**面接では現地へ赴き、ご家族の方ともお会いしています**。これは彼らの本国での雰囲気を知るのと同時に、面接の際にできるだけ本人を緊張させないようにという思いがあるからです。

また、ご家族に対しても3年間ご子息・ご息女をお預かりする責任があるので、心配するご家族に深い理解と協力をいただくためにも直接会ってご説明しています。

能力開発の面では、本人も気づかない能力を引き出すことを意識しています。分け隔てなく仕事を任せ、将来を見据えて彼らが本国に帰っても、また、日本に残っても活躍できるようにさまざまなことに挑戦させています。



群馬県多文化共創カンパニー認証を受けて一言

外国人材のみんなと一緒に作り上げてきた文化や取組が認めただけで嬉しいです。これからも国籍に捉われない、良いチームづくりを栄光グループ全体で続けていきたいと思ひます。





5

POINT!

外国人材の活躍



外国人材ニーさん
機械を操作するベトナム出身の



活躍するベトナム出身の外国人材



上からギアさん、ティエンさん、チュオンさん



会社のモチベーション向上に

外国人材の採用を始めるまでは社員の多くが女性であり、若い男性の働き手が少ない状況でした。そこに若い外国人材が入ったことで、力仕事を任せられることはもちろん、**企業全体が活気づき、モチベーション向上にも繋がりました。**今では、外国人材と日本人社員とが

切磋琢磨しながら互いの能力・技術を高め合っています。

新たな視点から

生産会議等の会議には外国人材にも参加してもらっています。仕事全体を理解してもらい、彼らの目線で意見をもらうことで、新しい視点から議論を進めることができます。

VOICE

株式会社栄光製作所 代表取締役 勅使河原 寛 さん



若手スタッフをなかなか雇用できなかった当社にとって、外国人材の受入れを開始したことは、企業の国際化、そしてビジネスの可能性を広げることに非常に大きな意味を持ちました。引き続き彼らには様々な技術や考え方を習得してもらい、どんな国でも、どんな企業でも活躍できる人間に育ててほしいと思っています。

外国人材の採用というハードルの高さを感じるかもしれませんが、そのハードルを明確にして課題に向き合うと、その課題は案外解決できるものかもしれません。採用に関して悩んでいるなら、まず一歩踏み出してみると現状は好転するはずです。

VOICE

チュオン ミン デさん(ベトナム出身)



当社では困ったことがあればみんなが助けてくれます。例えば病院に行くことになった際には、右も左もわからない自分の代わりに、会社がすすんで連絡してくれました。

業務に関しても、会社の考え方に深く共感しています。

グエン ティ イエン ニーさん(ベトナム出身)



元々国外に出ることは考えていませんでしたが、偶然出会った栄光製作所に魅力を感じ、来日を決めました。初めはわからないことばかりでしたが、社長や日本人社員の皆さんがいろんなことを教えてくれました。生活に必要なものも用意してくれたり... 感謝しています。